

446 水源の乏しい地域の農業用ため池を地域の消防活動にフル活用

取組主体【掲載年】	法人番号	事業者の種類【業種】	実施地域
益子町土地改良区 【平成 29 年】	-	その他事業者 【農業, 林業】	栃木県
<ul style="list-style-type: none"> ● 栃木県南東部に位置する益子町は、林野率も高く地域を流下する中小河川も自流は少ない。益子町土地改良区では、農業用ため池（大郷戸ダム）を設け用水確保を図っているが、かねてより山林火災時の消火用水及び消防隊員の潜水訓練場に提供するなど、水源を災害時の活動に役立てている。 ● 有事には、火災時の防災ヘリ離着陸等のため、平成 24 年の益子町前沢での林野火災では 5 回給水、平成 19 年茂木町小貫では 5 回給水、平成 14 年茂木町深沢では 15 回給水が行われた。平時には、平成 27 年に 36 回、平成 28 年に 23 回（同年 8 月現在）、県防災ヘリによる訓練で同改良区のため池が利用されるなど、地域の給水拠点となっている。また、同改良区は震度 4 以上の地震発生時に、ため池緊急点検を実施するなど災害時の維持管理に取り組む。 ● 近年、気候変動等に伴う集中豪雨が頻発しており、平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨では栃木県内でも大規模な浸水が発生した。こうした水難災害に備え、平成 28 年 7 月と 8 月に広域消防のレスキュー潜水訓練が大郷戸ダムで実施された。訓練時には同改良区が水利用や親水施設の利用制限等の調整を行う。 			



▲潜水訓練に利用されるため池